

平成 27 年度ダイオキシン類環境調査結果について
(大気・公共用水域水質及び底質・地下水質・土壌)

1. 調査概要

市は、環境大気 2 地点、公共用水域の水質及び底質各 6 地点、地下水質 2 地点、土壌 3 地点についてダイオキシン類環境調査を実施しています。

その結果全ての調査地点において、環境基準を満たしていました。

2. 調査内容

(1) 調査時期

(ア) 大気

調査回	調査時期
第 1 回目	平成 27 年 6 月 15 日～平成 27 年 6 月 22 日
第 2 回目	平成 27 年 8 月 18 日～平成 27 年 8 月 25 日
第 3 回目	平成 27 年 10 月 23 日～平成 27 年 10 月 30 日
第 4 回目	平成 27 年 12 月 15 日～平成 27 年 12 月 22 日

(イ) 水質、底質及び土壌

調査区分	調査時期	
公共用水域水質及び底質	河川	平成 27 年 9 月 1 日
	海域	平成 27 年 7 月 31 日
地下水質	平成 27 年 7 月 10 日	
土 壌	平成 27 年 10 月 22 日	

(2) 調査地点

(ア) 大気

調査区分	調査地点数	調査回数	合計調査回数
大気	2 地点	各 4 回	8 回

(イ) 水質、底質及び土壌

調査区分		調査地点数	調査地点数小計
公共用水域 (水質及び底質)	水質	河川	5 地点
		海域	1 地点
	底質	河川	5 地点
		海域	1 地点
地下水質		2 地点	2 地点
土 壌	一般環境	1 地点	3 地点
	発生源周辺	2 地点	
調査地点数合計		17 地点	

(3) 調査対象物質

ダイオキシン類

ポリ塩化ジベンゾーパラージオキシン (PCDD)

ポリ塩化ジベンゾフラン (PCDF)

コプラナーポリ塩化ビフェニル (コプラナーPCB)

(4) 測定分析方法

(ア) 大気

ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル

(環境省水・大気環境局総務課ダイオキシン対策室大気環境課)

(イ) 公共用水域の水質及び地下水質

工業用水・工場排水中のダイオキシン類の測定方法 (JIS K 0312)

(ウ) 公共用水域の底質

ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル

(環境省水・大気環境局水環境課)

(エ) 土壌

ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル

(環境省水・大気環境局土壌環境課)

3. 調査結果

(1) 大気

No.	調査地点名	ダイオキシン類 (pg-TEQ/m ³)				
		調査時期				年間平均
		6月	8月	10月	12月	
1	堤小学校	0.011	0.0071	0.019	0.0094	0.012
2	青森市文化財資料等収蔵庫	0.016	0.018	0.032	0.028	0.024
環境基準 (年間平均値)						0.6

(2) 公共用水域・水質

No.	調査地点			ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	
				水質	環境基準
1	河川	新城川	戸建沢橋	0.082	1
2			新井田橋	0.31	
3		大袋川	下流	0.11	
4		沖館川	西滝川滝内橋	0.081	
5		野内川	滝沢橋	0.021	
6	海域	陸奥湾堤川 1km 沖		0.052	

(3) 公共用水域・底質

No.	調査地点		ダイオキシン類 (pg-TEQ/g)		
			底質	環境基準	
1	河川	新城川	戸建沢橋	0.20	150
2			新井田橋	1.1	
3		大袋川	下流	0.24	
4		沖館川	西滝川滝内橋	4.0	
5		野内川	滝沢橋	0.19	
6	海域	陸奥湾堤川 1km 沖		12	

(4) 地下水質

No.	調査地点所在地	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	
		地下水質	環境基準
1	鶴ヶ坂字田川	0.019	1
2	細越字栄山	0.014	

(5) 土壌

No.	調査地点所在地		ダイオキシン類 (pg-TEQ/g)	
			土壌	環境基準
1	一般環境	青森市立大野小学校	0.023	1,000
2	発生源周辺	堤川浄水場取水堰緑地	4.7	
3		月見野霊園	0.45	

注1) 等価係数 (TEF) は、WHO-TEF (2006) を換算係数として用いて、毒性等量 (TEQ) に換算して表示しました。

注2) ダイオキシン類は、PCDD、PCDF 及びコプラナーPCB の総和です。

4. 評価

(1) 大気

全地点で大気環境基準 (0.6pg-TEQ/m³) を満たしていました。

(2) 公共用水域の水質及び底質

全地点で水質環境基準 (1 pg-TEQ/L) 及び底質環境基準 (150 pg-TEQ/g) を満たしていました。

(3) 地下水質

全地点で地下水質環境基準 (1 pg-TEQ/L) を満たしていました。

(4) 土壌

全地点で土壌環境基準（1,000 pg-TEQ/g）を満たしていました。

5. 今後の対応

平成 28 年度も引き続き市内の環境モニタリング調査を実施し、ダイオキシン類濃度の
実態及びその推移を把握していきます。